

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自らの生活の場であると実感できるように必要なケアを目指している。	○	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の会議の中で話し合いをも持ち実現に向けて日々取り組んでいる。	○	一人一人をしっかり見つめ理念の実現に向け日々努力して行きたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	契約時に家族に説明している。又、運営推進会議で、理念を伝え理解を得ている。	○	今後も日々の活動の中で理念に向けた取り組みを行っている事を家族や地域の方々に理解してもらえるよう努力して行きたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	気軽に挨拶が出来、取立ての野菜や果物を頂いたり除々に近所の方々に理解されゆっくり話が出来るように玄関にベンチを置いている。	○	気軽に交流が図れる関係作りに職員皆で検討し取り組んで行きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事への参加や、GHで開催する夏祭りを地域住民と交流する場として参加頂いている。	○	地域の行事や活動に参加し、交流できる事がないか皆で検討したり運営推進会等で話し合っ行って行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	推進会議で民生委員さんにお茶のみサロンのような会に参加できるようにお願いしている。施設を会場にしてみてもとの意見も出ている。	○	在宅で一人暮らしのお年寄りが気軽に立ち寄れる様な関係作りを実施していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義を理解しサービスの向上につながる様努めている。	○	自己評価・外部評価の意義を基にサービスの質の向上に取り組んでいきたい。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業報告の中でグループホームの日常生活や取り組んでいること等報告し、グループホームを知っていただき運営推進会議での意見交流を今後のサービスに活かして行きたい。	○	今後も定期的開催し、様々な意見を頂き、サービスの向上に努めていきたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に南部地域包括支援センターの職員に参加頂いたり、ホームの行事にも参加頂いている。	○	必要に応じて連携を図っていきたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は成年後見制度を学ぶ研修に参加したり、必要に応じてスタッフにも伝えている。	○	必要な支援が出来るように研修などに多く参加していきたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	隣接老健の中に拘束委員会がありスタッフの中に委員として学ぶ者がおり、日々のケアの中で具体的にどの様なことが虐待になるか話し合い、虐待防止に努めている。	○	今後も継続して行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分理解していただける様時間をかけ説明し、納得をして頂き面談を重ね話し合えるように対応している。	○	今後も継続して行きたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	独自で『満足度調査』で利用者と家族からアンケートを実施。苦情・不満・意見等を聞く取り組みをし、意見や要望はスタッフ会議で検討され質の向上を図っている。月一回安心相談員を受け入れている。	○	スタッフは日々の生活の中で、不満・苦情を聞き逃さないよう心がけ、申し送り等で皆に伝え改善できることは検討し実行している。今後も継続して行きたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪時には現在の状況を報告し、金銭管理にも確認をしていただいている。必要時には直接家族に連絡し報告を行っている。	○	これからも日々の報告をし、生活状況の連絡を検討していく。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。重要事項説明書に苦情対応の窓口を載せている。事業所が独自のお客様満足度調査をし、不満・苦情を表せる機会を作っている。	○	遠慮なく意見や苦情を表せるような関係作りに今後も努めていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回カンファレンス時に、スタッフの意見や提案を聞き運営に反映させる様に努めている。	○	これからも継続して行きたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入所者の状況に応じた勤務体制の調整に努めており、外出時や行事には通常以上の職員体制で対応している。	○	今後も状況の変化や要望等に柔軟に対応できるよう日々調整・検討を行って行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	<p>入居者が不安にならないように努力して行きたい。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	<p>今後も継続して行きたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	<p>今後も他のグループホームと交流する機会を設けたり、会議や研修に参加しネットワーク作りを行いたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	○	<p>業務の体制上、全員参加で慰労を図ることは出来ないが、そのつど計画を計りコミュニケーション作り努めたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	○	<p>今後も向上心を持ってはたらける環境づくりに努めて行きたい。</p>

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人との面談時に話をよく聞き、話す一言一言を大切にし表情や動作なども観察を行っている。	○	今後も継続して行きたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	老健の相談員とも連携しており相談内容によっては求められているサービスを見極め対応している。	○	今後も継続して行きたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けながらアセスメントし、求められているサービスが何であるのを見極めながら対応するように心がけている。	○	必要な支援が見極められるようにスタッフも日々努力をしていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所する前に家族と本人に見学やお茶飲みに来ていただいたり、他の入所者の方にも加わっていたり、様子や表情を観察し、家族と相談しながら対応している。	○	見学も随時受け付けている。これからも継続して行きたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごす中で支えあったり、学んだり共に何かをする事で、笑ったり楽しい時間を共有している。	○	一緒に過ごす中で支えあったり学んだりと喜怒哀楽を共にした関係作りを今後も行って行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時に生活の様子等を伝え、家族の思いや願いを聞きながら本人らしい生活とは何かを一緒に考えていく姿勢をとっている。	○	行事などの案内をし、一緒に参加してもらうなど交流を深め気軽に話が出来、喜怒哀楽を共にし今後も一緒に本人を支えていく姿勢を大切に取り組んでいきたい。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の状況が変化したとき等は随時家族に連絡をしながら個別により関係が築ける支援を行っている。	○	今後も継続して行きたい。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や親戚などが面会に来ている。外出・外泊時は情報の提供や助言などの支援を行っている。	○	今後も継続して行きたい。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	さりげなく支えあえるような場面作りに取り組んでいる。ホームの中で形成された人間関係を大切に考えている。	○	外出時に手を繋いで歩行の援助をしたり車椅子を押して下さったり、洗濯物をたたんで下さったり他の人もいたわる事の間人間関係が出来ている。これからも継続して行きたい。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	隣接老健に入所された場合には、入居者と一緒に会いにいたりしている。家族ともお話しするなどしている。	○	サービス終了時にもホーム側から会いに行くなどの関係を継続して行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中から望む暮らしに寄り添えるように取り組んでいる。毎月ケアプラン会議のときに話し合っている。	○	今後も本人の思いやその人らしい暮らしの為の環境作りを行って行きたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談時に生活歴・生活環境等の情報を収集・把握に努めている。家族からのお話から生活の様子などを把握することに努めている。	○	今後も継続して行きたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	出来ること・出来ないことを把握し、一日の流れを無理のない範囲で支援している。	○	出来る力の発揮を最大限に活かしながら総合的な把握に努めて行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の希望、本人の意向などを大切にカンファレンスを行いながら作成している。	○	利用者本位の介護計画となるようスタッフ皆で取り組んで行きたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化に伴い一人ひとりの状態に合わせ介護計画を変更している。	○	スタッフ全員で話し合い今後も継続して行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の申し送りの中でやってみたことや気づいたことを話し合ったり、ケース記録を通して情報を共有しながら実践している。	○	今後も継続して行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接老健のPT・ST・ナースなどにアドバイスしてもらうこともある。	○	老健の行事・お茶・いけばななどにも参加している。また、リハビリの仕方などアドバイスしていただいている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議のメンバーに民生委員もおりに必要に応じて協力を得ている。	○	更によりよい関係が築いていかれるように検討して行きたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	隣接の在宅支援センター・抱括支援センターのケアマネと常に情報を共有したり、必要に応じて相談している。	○	必要に応じて連携を図り支援して行きたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの方々が運営推進会議に常に出席頂いている。必要に応じて協働していく体制を作り上げている。	○	必要に応じて協働して行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望を聞き主治医を決めていただくが実際にはどう法人の医師を主治医としていることが多い。日々医師と連携を図り、受診や適切な医療が受けられるように努めている。	○	今後も継続して行きたい。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要ならば専門医の受診や紹介をし報告や相談を行いながら支援している。	○	今後も継続して行きたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護師と医療連携をしており週一回金曜日に健康チェックで訪問してもらったり、緊急時にも対応していただいている。状況によっては隣接の老健に看護師も常駐しており、相談したり連携している。	○	今後も継続して行きたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には情報提供を必ず行い状態や生活の様子が分かるようにしている。又、途中経過の状態や情報の把握に努め退院後の相談に乗っている。	○	今後も継続して行きたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、家族に早い段階から説明し希望を受けられるように努めている。	○	重要事項にも含まれており今後も家族と十分な話し合いを繰り返し慎重に検討し、具体的な指針を皆で共有して行きたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームとしてどこまで対応できるのか皆で話し合いながら「出来ること・出来ないこと」を見極め主治医・看護師と密に連携を図るように努めている。	○	

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替え時にはまず本人の意思確認を十分に行い、家族と話し、ケア関係者に情報提供を行い、ダメージを防いでいる。	○	ホームから別の居所へ移られる際には十分な話し合いや、情報の提供、交換を行い本人にとってより良い対応ができるように心がけている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報ホーム内で管理している。言葉賭けや対応でもプライバシーを守り個々の人格を尊重した対応を心がけている。	○	今後も継続して行きたい。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の暮らしの中で自分の意見が言えるような環境作りに努めている。先回りの声かけやケアだけでなく、自己決定できるよう支援している。	○	一人ひとりに合わせた言葉掛けが出来るようスタッフで取り組んで行きたい。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自分のペースを守り生活している方も多く、日頃の生活パターンを大切にしていけるよう、また充実感が得られる暮らしの支援に努めている。	○	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	洋服を選んだり、時にはビューティーボランティアさんが見えお化粧をしていただいたりしている。希望により、近くの美容師さんに来所していただきカットしたり、かぞくが美容院に連れて行ってくださったりしている。	○	その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援して行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>今後も食事を楽しむことが出来るよう個別に支援して行きたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>今後も継続して行きたい。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>一人ひとりの能力に合わせてケアして行きたい。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>気分やタイミングを常に考え気持ちよく入浴できるように努めたい。希望する時間帯の入浴にも柔軟な対応が出来るように検討して行きたい。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>安心して気持ちよく安眠や休息が出来るよう支援を継続して行きたい。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>一人ひとりに応じた支援して行きたい。</p>

グループホームコスモス長野・2階

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在お金を所持している方はいないが必要に応じて買い物等で所持したり使えるように支援している。	○	希望により出来る力を見極め支援して行きたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩に出かけたり戸外で食事やお茶を飲んだり支援している。	○	今後も継続して行きたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の協力の下、自宅への外泊外出などの支援を行っている。季節によって花見やドライブ・外食に行くなどの支援を行っている。	○	スタッフ・家族の協力の下で支援して行きたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙やはがきが届いたり本人の希望で電話をかけたり、又かかってきたときは取り次ぐ支援を行っている。	○	今後も継続して行きたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時には椅子を用意しお茶を出しゆっくりと過ごせるよう気を配っている。	○	気軽によっていただけるように工夫して行きたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日頃よりスタッフ全員身体拘束するリスクを学び理解やケアの取り組みをしている。	○	身体拘束しないケアを実践して行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関に鍵をかけることはなく居室においては夜間自ら鍵をかける入居者もいる。	○	居室に鍵をかける入居者にはかけないで過ごせるようお話させていただいている。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者が常にどこで何をしているのか把握に努めている。	○	今後も継続して行きたい。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミや針などはスタッフと共に使用したり使用後は確認などを行っている。能力に応じてハサミ・ツメきり等は希望時に渡している。	○	安全に過ごせるように配慮して行きたい。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に事故防止に向けた工夫や取り組みを行い、事故発生時はカンファレンスを行い事故の再発防止に向けた取り組みをしている。	○	一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んで行きたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応時について学んでいる。訪看さんや隣接する老健スタッフもすぐ対応くださる体制になっている。	○	スタッフは日々勉強会を行い、急変時に対応できる様学んで行きたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回消防訓練・地震災害訓練を行っている。隣接する老健とも協力できる体制になっている。地元消防団にも協力をお願いしている。	○	今後も地域の人々の協力が得られるよう働きかけていきたい。

グループホームコスモス長野・2階


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	状態・状況に応じてリスクを家族に面会時や電話で伝え、どのように対応していくのが本人にとって一番よいのか家族と共に考えている。	○	今後もその人らしい暮らしが出来るように家族と共に話し合っていきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタル測定を行ってその日の体調や変化を観察し早期発見に努めている。異常がある場合は訪看さんに連絡をし、支持を仰いでいる。スタッフも情報を共有している。	○	今後も継続していきたい。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時医師に状態の報告、薬の使用に際しての意志よりの指示は全スタッフが把握している。また、訪看も受診時立ち会っており全部把握されている。日々、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	○	今後も継続していきたい。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取を多く心がけたり、適度な運動を行っている。チェック表にて排便の確認を行い必要に応じた排便の対応を行っている。	○	今後も継続していきたい。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後能力に応じて口腔ケアを行っている。夜は義歯洗浄剤を使用している。	○	今後も継続していきたい。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録があり毎日記録しており水分量も補給不足の方には好みの物や体調に合わせて対応している。	○	今後も継続していきたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルがある。ノロウイルスの対応は保健所で実施する研修に参加している。消毒液、マスク、手袋等用意している。	○	今後も継続していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・付近の消毒は毎日行っている。チェック表にも記入している。食材は月～土曜日毎日配達されており新鮮で安全なしょくざいの使用に努めている。	○	今後も継続していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に花を飾ったりして暖かい雰囲気作りを心がけている。	○	今後も継続していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間・廊下は季節感を取り入れ共同制作の貼り絵などを飾り明るく楽しく過ごせる工夫をしている。	○	今後も継続していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室では縫い物をしたりソファでは仲の良い人たちと会話ができるように設置されている。	○	これからも工夫して行きたい。

グループホームコスモス長野・2階

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	○	今後も継続していきたい。
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	○	今後も継続していきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	○	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	○	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームコスモス長野・2階

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

隣接する老健、クリニックの医師の応援を受けながら訪問看護師の援助もあり健康面や医療面においては安心して暮らしていただいています。

GH独自の行事や老健の行事にも参加させていただいております。気候の良い時には外出や外食なども計画し、膚で季節を感じられるようにスタッフ一同支援しています。

この所、体調不良者が多くでており、介護で手一杯になっているスタッフを見て入所者がスタッフに手を貸してくれ、洗濯干しや洗濯物たたみ、掃除に至るまで自発的に動いてくれた事は、大変嬉しく感謝しております。

理念にある利用者にとってのグループホームコスモス長野が自らの生活の場であると実感できるようにこれからも必要なケアを目指して、共に楽しく暮らしていけるように認知症ケアに取り組んでいる。